

平成20年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）
「アンケート結果に応じて」

所属部局	法科大学院		氏名	正木祐史
講義コード	2351037010		講義名	刑事司法論
開講曜日	月/木曜日	3・4/1・2時限	専門科目	・ 全学教育科目
授業回数	28回	休講回数	0回	補講回数 0回
受講登録者数 72人				
<p>成績評価に際し注意した事項</p> <p>ガイダンスで提示したとおり、中間試験を100点満点、最終試験を100点満点とし、両者の総合点に2分の1を乗じた最終点数（小数点以下は切り上げ）により評価した。この段階で「不可」評価となった者につき、講義期間中に提出された課題の成績を考慮し、加点した。</p>				
<p>報告内容</p> <p>1. 評価アンケートの結果を見て</p> <p>カルテによる要注意項目は、質問・相談に応じる姿勢・配慮であったが、平均値自体は</p> <p>8.3、講義中に適宜確認をしていたし、講義終了後またはメールにて随時受け付けていたので大きな問題はないと考えている（下記も参照）。なお、板書の見易さが平均値6.6と最も低い値になっており、この点は改善したい。</p> <p>2. 自由記述に応じて</p> <p>自由記述欄に回答したものが2通あった。改善点の項目に記述したものはなかったが、よかった点の箇所に板書が見にくいと指摘したものがあつた。上記結果と合わせ、留意したい。また、講義中に分からないところはないか確認していたことを評価する記述もあつた。</p> <p>3. 今後の授業改善について</p> <p>上記のとおり、板書の見易さは要改善事項と受け止めている。その他、適宜の改善を続けていきたい。</p>				